

教育委員会 9 月報告について

令和7年10月1日

こども園、小・中学校にて2学期始業式 挙行

令和7年9月1日(月) こども園、小・中学校にて2学期の始業式が行われた。小学校では全校児童が体育館に集まり、校長先生の話聞くことができた。校長先生からは、「2学期には様々な行事があるので、皆さんが1つでも多く『できるようになる』『分かるようになる』ように、友達と一緒に力を合わせて頑張っていきましょう。」という話がされた。各教室では久しぶりの友人たちとの再会に、大いに賑わいを見せており、夏休み中の出来事について発表し合ったりしていた。夏季休業中は、こども園、小・中学校の園児・児童生徒に大きな事故やけがはなく、元気に過ごすことができた。



小学3年生によるどでかぼちゃの観察記録の発表 ～「オータムフェスタ2025」にて～

令和7年9月6日(土) 役場前で開催された「オータムフェスタ 2025」にて、小学校3年生が「どでかぼちゃ」の観察記録の発表を行った。4月から「木曾岬子ども未来塾」の体験活動の一環で、「どでかぼちゃ愛好会」のみなさんの指導を受けながら、みんなでどでかぼちゃ作りに挑戦してきた。子どもたちにとっては初めての経験ばかりであったが、愛好会の皆さんの丁寧な指導により、大きなかぼちゃを育て上げることができた。当日は、種まきからの生長記録を大きな声で堂々と発表することができ、来場者から大きな拍手をいただいた。当日の計量では、子どもたちが栽培したかぼちゃの重量は133 kgで第7位であった。



小学校で観劇会を実施

令和7年9月9日(火)、人形劇団むすび座による人形劇“小さな山神スズナ姫”の鑑賞を行った。会にはこども園の5歳児の皆さんも参加した。子どもたちは、迫力のある演技に、見入っていた。芸術や音楽に触れることを通じて、豊かな感受性や表現力を育むことができ、子どもたちは楽しい時間を過ごすことができた。



中学校「社会を明るくする運動」実施

令和7年9月9日(火) 木曾岬中学校コミュニティモールにて、桑名保護司会の皆さんと生徒会執行部、生活福祉委員の生徒で、あいさつ運動を行った。この活動は、「社会を明るくする運動」の活動の一環として、毎年桑名管内の中学校で実施されており、今年度は木曾岬中学校で実施された。また、あいさつ運動の後には、保護司会の皆さんと生徒会執行部による対話集会が行われ、この運動の始まった経緯や保護司の活動の説明がされ、その後動画を観た後、意見交換が行われ、生徒にとって貴重な学びの場となった。



木曽岬中学校 授業公開週間及び文化展示

令和7年9月16日(火)～19日(金)の4日間、保護者を対象に授業公開と文化展示を行った。中学校では、保護者対象の授業公開が年間2回(6月・9月)計画されており、今回は国語や英語、美術、家庭などの授業で作成した作品や美術ボランティア部の作品などの展示も行い、生徒一人一人のがんばりを参観いただくことができた。

また、期間中は、県教育委員会や町教育委員会の指導主事も授業を参観し、教員の授業力向上に向け指導助言を行った。



小学生 情報モラル教育 出前講座 実施

令和7年9月18日(木)に5・6年生、19日(金)に3・4年生が、情報モラル教育出前講座を受講した。本講座の受講は、子どもたちにとって、インターネットや SNS を安心・安全に、かつ責任をもって利活用するために必要な「気づき」を得る機会となりました。各ご家庭でも、是非とも、話題にさせていただきたいと考える。



小学5年生の稲刈り体験 秋の収穫

令和7年9月18日(木)に、地域の農家の方を講師にお招きし、小学5年生が稲刈り体験を行った。

この取り組みは、木曽岬子ども未来塾の体験活動の一環で、地域の農家の方に田植えから稲刈りまで継続的に指導の協力をしていただいている。児童は、稲作体験を通じて米作りの大変さや、収穫の喜びを体験することができ、郷土の基幹産業の一つである米づくりへの理解を深めることにつなげることができた。なお、収穫したお米は後日、美味しくいただく予定である。



全国大会出場に伴う激励金交付式 実施

令和7年9月18日(木)に、全国大会出場に伴う激励金交付式が役場町長室で行われ、“わた SHIGA 輝く国スポ(9/21～9/25、京都市向日町競輪場で開催)”に出場する梶野哲平さん(見入)に三輪町長から激励金が授与された。梶野さんは令和7年4月から7月にかけて、三重県各地で開催された「三重県春季大会」、「三重県総体」、「東海大会」、「三重県選手権関西トラックフェスタ」において、それぞれで好成績を残し、全国大会への切符を手にした。梶野さんからは、「全国大会の表彰台を目指します。」と力強い決意表明を頂いた。

